Sei-Ryou

2018.3 Vol.21 盛岡大学聖陵同窓会報

1

´盛岡大学聖陵同窓会 ´〒 020-0694 岩手県滝沢市砂込 808 盛岡大学内 .019-688-5555 http://www.morioka-u.ac.jp/seiryou/

東日本大震災により被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

С	













T	S	

■同窓会長あいさつ	
ホームカミングデ-	-が開催されま

- した 2 ■ 恩師からのメッセージ …………… 3
- 活躍する在学生 インフォメーション







せん。

次に在校生、卒業生による口

える次第です。

終わりに私事ではあります 昨年11月より学校法人盛岡

ばたかせていかなければなりま 間お預かりした学生を社会に羽



皆さん御存知の通り2018

ます。

採用の3割が本学卒業生であり 用においても、岩手における本 されております。更には教員採

写真提供:文学部日本文学科2年 小澤 魁 (写真部)

2018年問題に盛

報) 中のアクセス、立地の評価は低 室・ゼミのポイントが高く評価 人・恋愛・講義・授業・研究 の整備に着手します。 は30年経過する砂込キャンパス 存校舎の机、イスの交換、更に も低く、現在新校舎完成や、既 評価でした。同様に施設・設備 ンクされています。評価項目の 84と554大学中133位にラ コミ評価にて(みんなの大学情 盛岡大学は5点満点で3・ 一方、友

大学の理事を拝命致しました。

を行って参ります。同窓会事業 り同窓生と大学の大きな橋渡し 今後は盛岡大学の経営にも携わ

程重ねてお願い申し上げます。

に皆様からの御指導、

御鞭撻の

チコピーのもと、大学では4年 話の先に未来を創る』のキャッ ろんこれからが本番です。『対 1%で上位120位です。もち 大学は、収容定員充足率1 ています。 ない、大学存亡の危機が叫ばれ 年以降の18歳人口の減少にとも 大学が定員割れです。我が盛岡 ば私立大学580校中、48%の 昨年11月発売のアエラによれ

の声をお寄せいただきました。 事にしている事、その企業や団 致しました。また、ホームカミ 我ら盛岡大学の卒業生のネット からの未来への拡がりについて 体がこれまで培った歴史とこれ 体様からは、人との繋がりを大 方にご来場頂きました。参加団 団体の参加を頂き、二百余名の 業・団体出展企画を実施し、17 生のドリーム33が優秀賞を受賞 ングデーでは、同窓生在籍企

ワークで、活性化できればと考 さて、夏のさんさ踊りで卒業

養 菅原 盛岡大学聖陵同窓会

元

同窓会長(あいさつ





呼びし、企業の紹介・物品販売・学生への求 迎えた今回は、 はこれまで、 まれた企画でした。 を ^在学生支援に繋げたい^ との思いから牛 ワークをさらに強くしていきたいヘ、その力 野で活躍する同窓会員。その 短大の同窓生が在籍している企業・団体をお 展企画」を行いました。この企画は、 趣旨として開催してきましたが、第5回目を デー2017』を開催しました。 当イベント 人等をブース形式で行うものです。 幅広い分 成29年10月8日(日)に 同窓生同士の繋がりをメインの 同窓生と在学生との繋がりに 「同窓生在籍企業・団体出 『ホームカミング ″同窓会ネット 大学と

オームガミシグラーが開

盛岡大学短期大学部同窓会アネモネ会■共催:盛岡大学・盛岡大学短期大学部■主催:聖陵同窓会

日本文学会が 創設30周年を迎えました

一般の方にも多数ご参加



今回ご協力いただいた企業・団体の皆様は め、ご参加いただいた皆様には改めて感謝

次回ますますのご参

ホームカミングデー全体では約200名の

用意した無料ケーキバイキング

盛会のうちに終了しました。

昭和62年の日本文学 科開設と同時に発足し た盛岡大学日本文学会 が創立30周年を迎えま した。

新企画では17企業・団体が出展し、各々工

ホームカミングデーの果たす役割とその

当日は爽やかな秋晴れのもと、在学生によ

日本文学会は「広く 日本文化を基盤とした 日本語・日本文学に関 する研究を推進し、そ の充実と相互の交流を

はかること」を目的に、現在にいたるまで研究報告会や講演 会の開催、紀要等の発行など、活発に活動をしてきました。

平成29年11月18日(土)、午前中に開催された秋季研究発表 大会に引き続き、本学元教授の石田洵先生と中央大学名誉教 授で現在岩手県在住の渡部芳紀先生の2名を講師にお呼びし て記念講演会が開催されました。また終了後は盛岡市内に会 場を移し懇親会が行われ、盛会のうちに終了しました。

日本文学科を卒業された方は「日文会」と聞いて懐かしく 思われる方も多いかと思います。これまで指導にあたってこ られた多くの先生方や会の運営に携わってきた多数の学生の みなさんに感謝するとともに、今後ますますの発展をお祈り したいと思います。

カモーソン大学 姉妹校協定締結 30 周年



盛岡大学の姉妹校であるカモーソン大学と協定を結んでか 今年度で30年を迎えました。それを記念して、昨年の10 月23日(月)、盛岡市の姉妹都市であるカナダ・ビクトリア市よ り、リサ・ヘルプス市長ら一行と、カモーソン大学姉妹校交 流担当のグラハム・ニフェルさんが本学を訪れました。 30年の歴史の中、ビクトリア市長が本学を訪れるのは協定の 締結以来初めてのこと。就任3年目である市長が盛岡市を訪 れるのは初めてで、「盛岡はとても温かい街だ。」と街全体に 良い印象を抱いているようでした。グラハムさんからは、今 年度より新プログラムへ移行した海外英語研修について説明 がありました。従来のプログラムは本学の学生のみを対象と して行っていましたが、新たなプログラムでは、世界各国か ら参加学生を募集することとなり、より一層異文化交流の機 会を持つことができます。今後両校の交流をさらに深めるに あたり、素晴らしい31年目をスタートできました。

恩師からのメッセージ



地域に信頼される大学

文学部英語文化学科 教授 桑原 俊明

例年になく厳寒だった冬も、心なしか太陽 の日差しは春を期待させる輝きを帯び、澄み 渡る空はどこまでも青い。2月中旬は、盛岡

大学にとって、学生募集の正念場を迎える時だ。2018 年度の学生募集は、昨年より志願者が微増し、一般入試・センター利用入試前期試験(2月14日)の段階で、定員確保の見通しが出てきた。英語文化学科の一教員として、いつもこの時期、大学入試センター室前の志願状況を眺めて一喜一憂したものだ。都会で開催される学会へ参加し、知り合いの教員と言葉を交わすとき、「お宅の大学はどうですか」とよく聞かれた。そのたびに、「地方一私大として、地域に信頼されてきたので、なんとか定員確保できています」と答えてきた。この答えはいつまでも変わらないと思う。岩手を離れ、千葉から盛大の発展を願い続けたい。



体育館管理日誌 ~あの日、あの時

文学部社会文化学科 准教授 千葉 智行

昭和63年に採用になった直後に砂込キャンパス移転に伴う体育館設計図の最終チェックがあった。当時の体育主任であった故金田

一先生から天井の高さはどうする?と確認をされた際に、「バレーボールの国際規格である床から 12.5 m 以上であること』は絶対に譲らなかった。今思えば、若気の至りであったか、バレーボール部を強化して名をはせ、東北で一番のバレーボールに適した大学体育館にしようなどと荒唐無稽なことを考えていた。1年半後に現キャンパスが竣工し、夏休みに引っ越しが行われた。大学当局から正式に供用の許可が出る前にバレーボール部の学生らと備品チェックと称し体育館での練習を開始した。誰も入っていないフロアに真っ先にシューズの足跡をつけ、初めて照明のスイッチを入れたあの瞬間の感動は今でも忘れない。

卒業生は今



栄養科学部栄養科学科 平成25年度卒業 京都大学医学部附属病院 疾患栄養治療部

嶋田 義仁さん

就職活動を契機に京都へ渡り、 現在も京都大学医学部附属病院の

管理栄養士として勤務を続けています。

学生時代を振り返りますと、患者さんへの栄養指導を成功させる1つの方法として地域の食文化を学ぶ事と教えて頂いた事を今でも覚えています。

京都の食事といえば上品な割烹料理や精進料理などを想像していた私ですが、例外もあり衝撃を受けました。例えば、京都がパン消費量日本一の地で、患者さんの食事記録には必ず食パンや菓子パンの記載がある事。また、こってりで有名なラーメン店の発祥の地である事など、私の固定概念はあっさりと崩されてしまいました。

地域の食文化を学ぶ事は日々の指導にも役立っており、 学生時代の様々なアドバイスが私の財産となっています。 栄養科学部1期生である重圧を感じながら、今後も地域医療や栄養学の発展に貢献したいと思います。 文学部児童教育学科 平成 26 年度卒業 JICA ボランティア募集事務局

淺沼 伸茂さん



私は「世界平和」が夢である。 大学を卒業し、その夢に一歩 でも近づくために青年海外協力 隊として中米のエルサルバドル という国に派遣され、現地の子 ども達に野球を通じて青少年の 健全育成を行った。

派遣国は、中米というラテンの雰囲気そのままに、明るく人懐っこい人が多く、日本からやってきた私を受け入れてくれた。 しかし一方で、治安やドラッグの問題が影を潜め、そこに住む人々の人生を台無しにすることも少なくない。

そこで、少なくとも野球をしている時だけは、子ども達がそのような問題を忘れ、生きがいや自分の居場所を感じられるよう「誰 一人不幸にならない野球」をテーマに2年間活動を行った。

毎日を必死に駆け抜けた2年間だったが、自分一人で物事を大きく変えるには難しい。そこで現在はJICAボランティアを募集する側に立ち、たくさんの人たちの力と共に、世界をより良くするために奮闘している。

活躍する在学生

文学部児童教育学科3年 大浦 みどりさん

私は、全国大学ビブリオバトル 2017~ 首都決戦~に参加し、予選会、地区決戦 を経て本戦に出場しました。ビブリオバ トルとは、本を紹介するバトラーたちが、

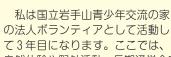


面白いと思う本の魅力を5分間で紹介し、その場にいる聴衆が「一番に読みたい!」と思った本に投票、その投票数で勝敗が決まるというゲームです。自分の言葉で本の魅力を聴衆に伝えるという「言葉の戦い」でもあります。

私は、改めて「伝えることの難しさ」を感じました。このバトルで使えるのは、自分自身の言葉だけです。ただ、「この本は面白い!」と紹介するだけではなく、聞き手をわざと煽るような話し方をするなど、伝え方、表現の仕方は無限大だと感じました。それと同時に、私の目指す教師という職業は「伝える能力」が重要となるため、その能力を一層磨いていきたいと思いました。

文学部英語文化学科3年

立花 春香さん





自然体験や野外活動、長期通学合宿などを通して、子どもたちの非日常体験のサポートを行っています。1泊2日や1週間のボランティア活動で子どもたちと関わり、子どもたちの成長から私たち大学生も多くのことを学ぶことができます。

また、同施設では国際交流のボランティアにも参加しました。1年生の時に同施設で行われた『日独学生青年リーダー交流事業』に参加し、ドイツ人学生との交流を通して、ボランティアの日独間の違いに興味を持ち、2年生の時には日本団としてドイツでの交流事業に参加しました。

普段の学校生活だけでは得られない『新しい自分との出会い』、「新 たな可能性の発見』を通して、日々スキルアップを目指しています。

職員以以也一分

文学部児童教育学科 昭和 60 年度卒業 学校法人盛岡大学企画部

副部長 髙橋 修さん



聖陵 Sei-Ryou 第 21 号に何を書こうか、どんな文章を載せようか、いろいろと考えました。そして初めに考えたこと、想ったこと、それは「人生の半分以上(約 65%)、盛岡大学にいる

なあ…。」でした。昭和57年から4年間学生生活をおくり、卒業後の昭和61年からは社会人として母校で働いてきました。言葉や文字では言い尽くせないくらい母校での想い出があります。もし昭和の時代にスマホやタブレットが存在していたら、インスタ映えするSNS投稿で、いっぱい「いいね!」をもらえたかも…。さて、私はこれまで、総務部、学生部学生課、就職センター、経理部財務課、企画部管財課の5つの部署で仕事をしてきました。33年間です。就職して仕事をするようになり、技術は無くても自分なりに基本やコツをつかみ、「職人的であること」を自分のテーマとして働いてきました。同窓生の皆さんも、様々な社会や環境で職人的であって欲しいと願っています。

-information

A205数室の机じ椅子で全面1/220アルしました。

平成元年から使用していたA 205 教室の机と椅子を全面撤去し、新しい机と椅子を導入しました。従来よりも机は広く、椅子は座面が布張りになりました。以前の設備では不可能だった椅子の後ろを通ることができる作りとなっています。また机全面、白を基調としたため、教室全体がパッと明るくなりました。

学生たちからも「新しくなって使いやすくなった」「机 が広くなったのでノートを取りやすくなった」等の声が 聞かれ、とても好評です。





平成 28 年度 聖陵同窓会決算報告 (平成 28 年 4 月 1 日~平成 29 年 3 月 31 日)

収入の部		
項 目	予算額	決算額
入 会 金	1,750,000	1,830,000
終 身 会 費	3,500,000	3,660,000
雑 収 入	20,000	7,934
特定預金取崩収入	0	0
計	5,270,000	5,497,934
繰 越 金	1,269,183	1,269,183
合 計	6,539,183	6,767,117
支出の部		
項 目	予算額	決算額
事 業 費	4,390,000	4,282,094
事 務 費	10,000	3,942
通信費	50,000	9,705
会議費	200,000	77,060
慶 弔 費	100,000	1,042,360
旅費交通費	100,000	20,000
同窓会室特別支出	1,500,000	470,380
財政基金繰入支出	0	0
計	6,350,000	5,905,541
繰 越 金	189,183	861,576
合 計	6,539,183	6,767,117

事務局だより

居等により会報をお届け 3 是非お出かけください 窓生同士でお話しする機会などあ 0 、ましたら同窓会報のことを話 い会 0 聖陵同窓会の会員は2018年 月 0名を越えます。 0) 員も少なくあ 卒 業生をも りません。 つ L 7 かし、 できて 1 2

す。 おり 例 報を行う学生広報スタッフとし 年度で第5回となり、 も活動してくれています ば幸いです。 今の学校の感じが少しでも伝われ 本文学科2年、 ようか。 さて、 々 0 が感が出 からも提供して貰い ますので、お誘いあわせ 来年度も引き続き行う予定で 参 加 ホームカミング 者も増えてきておりま 若干では てきたの 小澤さんは大学の 小澤魁さん では あります そろそろ **デー** ました。 な の上 (写真 は今 11 で

今年の会報表紙写真は文学部

学にも 毎年海 したら、 究委員会 2015年には研究のため盛岡大 が2018年2月2日に亡くなら け な ますとともに皆様にお知らせいた カナダから留学生を送る窓口のお れ、 ン大学では日本語クラスを担当さ れ いました。 リアでの 人としてもご尽力頂きました。 カモーソン大学の福島正行先生 ると幸い い」という方がいらっ に 日 また、 クシ 心 . の おいでに 本語教員養成課程の学生が からご冥福をお祈り 外実習でお世 せ 3 住所変更登録 7 長年に渡り ッ 日本語教育」 64歳でした。 11 プも行 ただき、 なり、 つ 話 を勧 ·盛岡大学 て頂きまし 言語教育研 一届 頂 と題した で カモー L きまし 11 「ビク や 17 め 7 7 ιJ ま









■ 編集委員

佐藤大裕(平成 12 年度卒)/畑村とも子(昭和 60 年度卒)/上條尚樹(平成 15 年度卒)/吉田智子(平成 15 年度卒)/川田彩乃(平成 20 年度卒)/佐々木啓(平成 23 年度卒)/川田野愛子 (平成 24 年度卒)/佐藤克俊(平成 24 年度卒)/西舘智美(平成 24 年度卒)/英士貴(平成 26 年度卒)/杉澤佑(平成 26 年度卒)/田澤綾乃(平成 27 年度卒)/今野結(平成 28 年度卒)

前号では会報発行20周年、今号ではカモーソン大学姉妹校締結30周年と日文会創設30周年と周年記事が続いています。制作を進めながら母校の歴史の積み重ねをあらためて実感しました。前号特集の先生コメントは好評をいただきましたので今号でも取り上げました。シリーズ化できたらと考えています。取り上げて欲しい話題などございましたらご意見をいただけるとうれしいです。